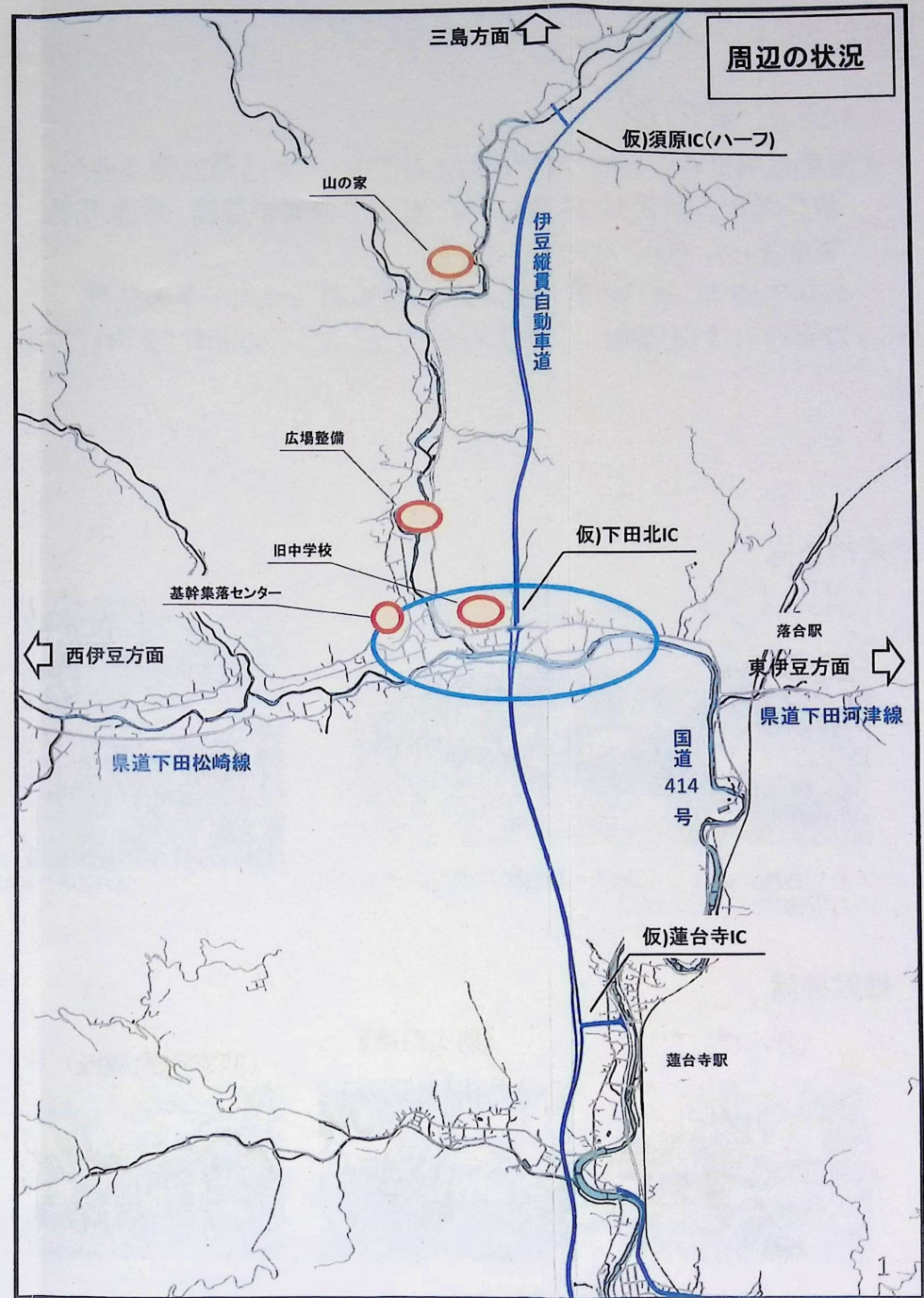
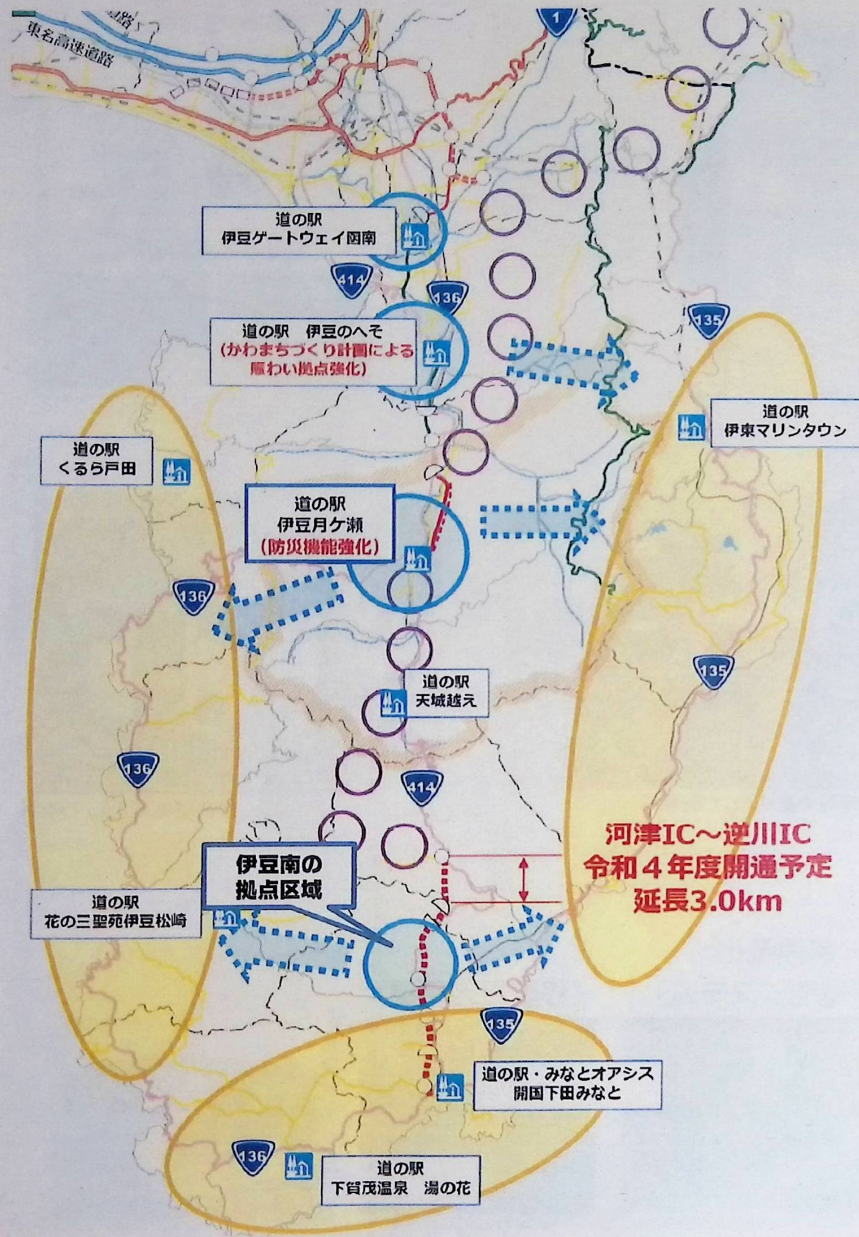


# 下田北IC 循環拠点区域

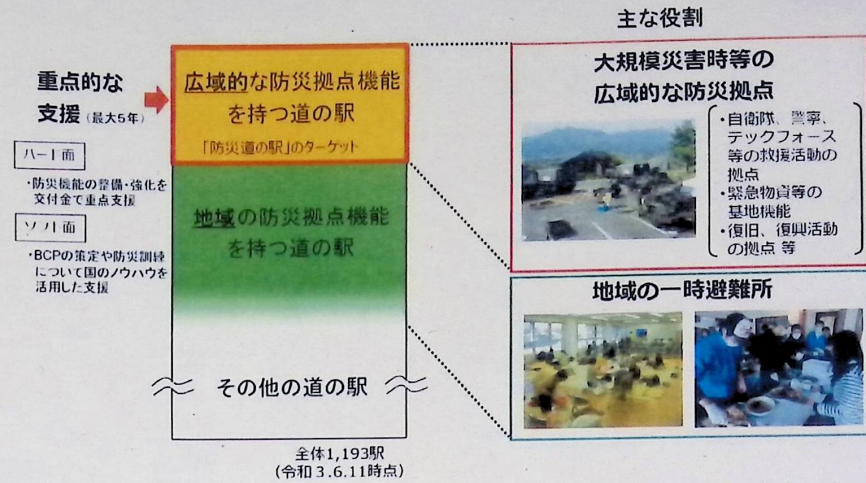


# 第3期フロンティアへの位置づけ

## ○防災道の駅

広域的な防災拠点機能(自衛隊による復旧・復興活動の拠点等)

- ・伊豆縦貫自動車道、国道414号、県道下田南伊豆線、県道河津下田線とのネットワーク
- ・非常用電源、飲料用貯水タンク、拠点施設、ヘリポートの整備
- ・災害時の支援活動に必要なスペースとして、2,500㎡以上の駐車場



### 活用想定



復旧や救援に向かう自衛隊・消防隊やボランティアの後方支援拠点として機能



他の消防からの派遣車両の基地として使用



携帯キャリア会社の移動基地局として使用

### 施設整備

《貯水タンク》



《防災倉庫》



(非常用発電機)



<無停電化>  
(蓄電池システム)



(移動用発電機)



# 第3期フロンティアへの位置づけ



## ○ドローン活用拠点

平常時は、ドローンの実証実験の場として活用

- ・ドローン活用人材育成所、研修施設
- ・道路、橋脚、鉄道等のインフラの発災時、ドローン等を活用して情報収集、共有、迅速な救援活動を実現するための検証
- ・近隣集会所への物資輸送
- ・獣害対策(生態調査、追い払い等)
- ・監視(開発行為、海水浴場等)
- ・農業(種まき、農薬散布等)、水産業(密漁対策等)
- ・山間部の現況調査(固定資産税評価等) など

災害時は、下田北ICを拠点に災害対応

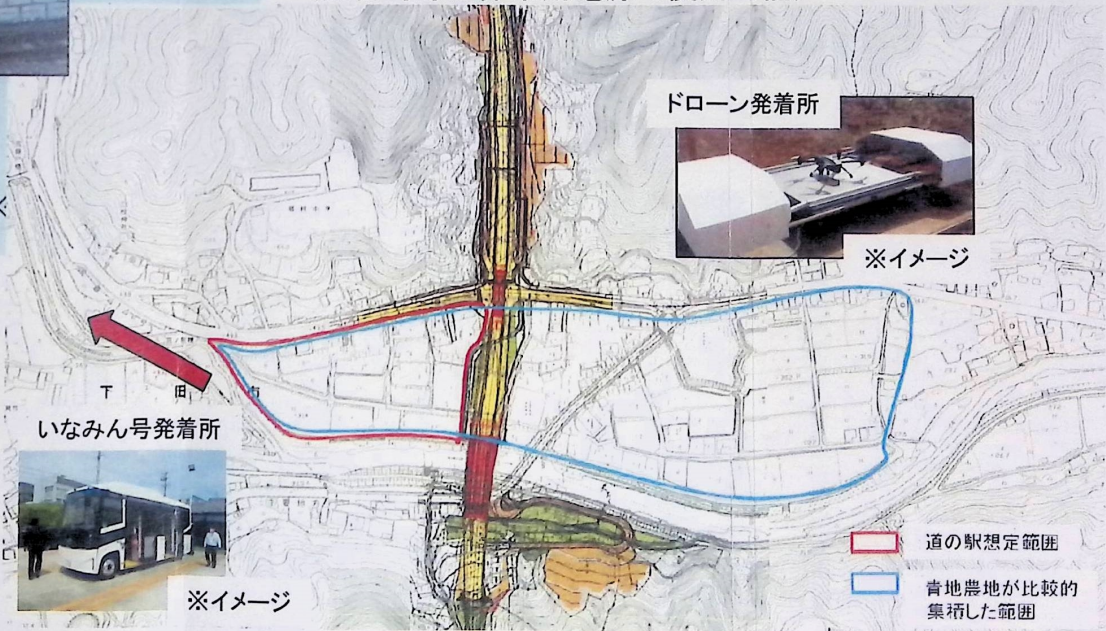
- ・市内の被害状況の確認(自動離発着、自動充電)
- ・市内基地局及び賀茂郡内基地局へ物資輸送等

※電力は太陽光発電により供給する。  
(災害時等は非常用電源で使用可能)

## ○小型EVバス導入

現行のコミュニティバス「いなみん号(稲梓循環線)」に小型EVバスを導入。災害時には電源車両として利用可能。

※電力は太陽光発電より供給する。  
(災害時等は非常用電源で使用可能)



# ※農地状況

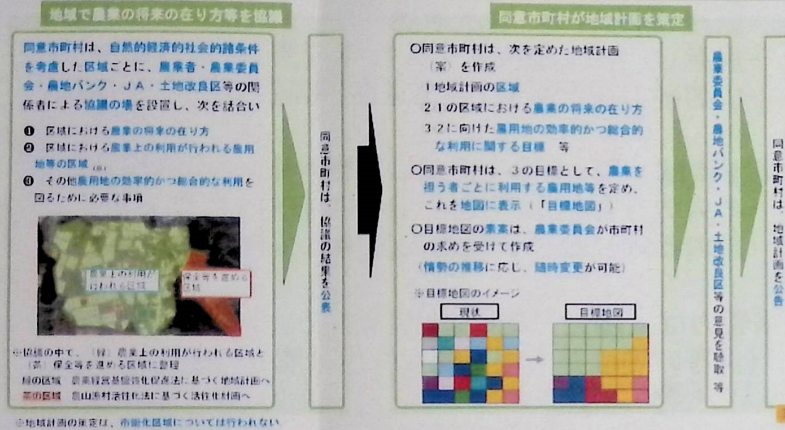
## ①農業振興地域

- ・農業振興地域面積3,953ha
- ・農用地区域面積150.73ha(内検討区域内5.0ha)

## ③人・農地プラン(令和3年度箕作地区策定)

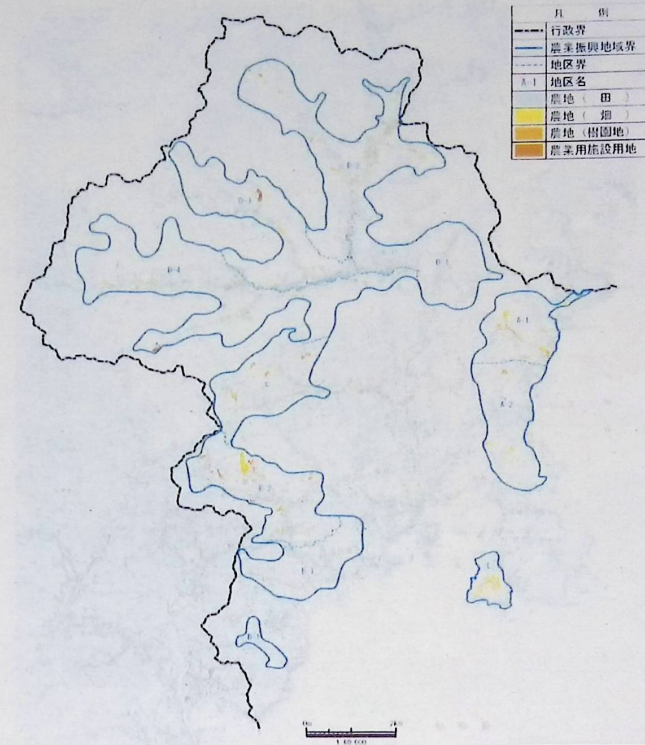
### 2 地域計画(人・農地プラン)の策定

- 同意市町村(基本構想を作成している市町村)は、地域における農業の将来の在り方等について、協議の場を設け、協議の結果を踏まえ、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため、「地域計画」(人・農地プラン)を策定(情勢の推移に応じ、随時変更が可能)
- 地域計画は、施行日(令和5年4月1日を予定)から2年以内(令和7年3月末までを予定)に策定

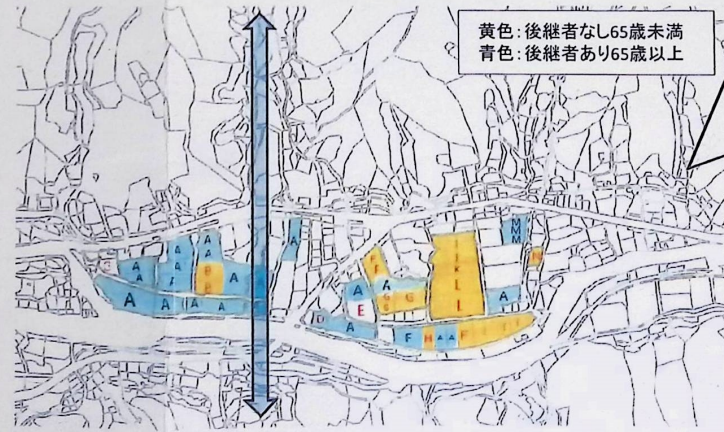


## ②下田市農業振興地域整備計画(平成31年3月)

- ・縦貫道の整備状況と土地利用の変化に合わせて改訂する。
- 農業振興地域整備計画図



## ④防災道の駅周辺の状況



昭和55年度  
農業構造改善事業(区画整理、椎原ほ場)補助金返還

受益面積:8.2ha  
事業量

- ・整地工A=8.2ha
- ・道路工L=1,025m
- ・水路工L=1,369m
- ・排水路工L=1,514m(うち一部区域)